

2023年度 第1回課題研究

テーマ

倫理規則の目的には次のように定められています。

《倫理規則の目的》

1. 会員及び準会員（以下「会員」という。）は、その使命を自覚し、達成に努めることにより、社会から期待された責任を果たし、もって公共の利益に資することが求められるのであり、個々の依頼人や雇用主の要請を満たすだけでなく、自らを律しその職責を果たすために厳格な職業倫理に従って行動しなければならない。日本公認会計士協会（以下「本会」という。）は、会員が職業的専門家としての社会的役割を自覚し、自らを律し、かつ、社会の期待に応え、公共の利益に資することができるよう、その職責を果たすために遵守すべき倫理の規範として、ここに倫理規則（以下「本規則」という。）を定める。

(1) 「社会から期待された責任」とは何かについてあなたの考えを述べなさい。

【600字～800字】

(2) (1) を踏まえ、あなたが今後どのような公認会計士になりたいかを述べなさい。

【1,000字～1,600字】

以上

必要字数

計 1,600 字～2,400 字

※テーマ表記は必要字数に含まれない。

2023 年度 第 2 回課題研究

テーマ

第 1 問

有価証券報告書における「注記」の意義及び必要性について説明しなさい。

【400 字以上】

第 2 問

会社は確定給付企業年金制度及び退職一時金制度を設けており会計処理は原則法を採用している。この場合に有価証券報告書において必要となる退職給付に関する注記を説明しなさい。なお、連結財務諸表における注記を前提とすること。

【800 字以上】

第 3 問

会計上の見積りの変更を行った場合に有価証券報告書において必要とされる注記を説明しなさい。

【200 字以上】

第 4 問

退職給付に係る会計処理について、従業員の平均残存勤務期間が短縮し数理計算上の差異の費用処理年数を 13 年から 12 年に変更した場合に、有価証券報告書において必要となる注記案を作成しなさい。なお、当該変更により税金等調整前当期純利益が 10 百万円減少するものとする。

【200 字以上】

以上

必要字数

計 1,600 字～2,400 字 ※テーマ表記は必要字数に含まれない。

2023 年度 第 3 回課題研究

テーマ

株式会社サイゼリヤ(以下サイゼリヤ)及び株式会社ジョイフル(以下ジョイフル)の有価証券報告書を基礎として、以下について記述しなさい。

なお、本課題研究を記述する前に、実務補習所が配信する e ラーニング講義「経営 201 経営分析総論」を視聴することを推奨する。

1.

サイゼリヤの 2023 年 8 月期及びジョイフルの 2023 年 6 月期の連結財務諸表に関する以下の財務分析指標について、計算式及び計算結果を答えなさい。

なお、計算に当たっては、次の指示に従うものとする。

- 全て、連結ベースの数値を用いる。
- 計算結果は、百万円表示(率の場合は%表示)。
- 率の計算上、小数点以下第 2 位を四捨五入し、小数点第 1 位まで答える。
- 貸借対照表項目と損益計算書項目を対比する計算式の場合には、貸借対照表項目は期首・期末の平均値を用いて計算する。
- 固定資産は、「固定資産合計」を用いること。
- 従業員数は、期末数値を用い、臨時雇用者の平均人数は含めないものとする。
- 労働分配率の算定に当たり、付加価値は加算法にて算定し、売上原価の内訳に含まれている労務費等は考慮外とする。
- 減価償却費は連結キャッシュ・フロー計算書を用いること。

- ① 売上高営業利益率
- ② 固定資産営業利益率
- ③ 従業員一人当たり売上高
- ④ 労働分配率
- ⑤ EBITDA (営業利益+減価償却費)

2.

1.の財務分析指標に差が生じている理由について、両社のビジネスモデルの違いに言及しつつ説明しなさい。

【1,000 字以上】

3.

サイゼリヤの 2022 年 8 月期及び、2023 年 8 月期のセグメント別の比較分析を実施しなさい。

【1,000 字以上かつ 1,500 字以内】

4.

原材料価格や人件費の高騰など、飲食店業界を取り巻く環境は厳しい状況が続いている。

サイゼリヤの事業リスク及び今後どのような経営戦略をとるべきかについて、上述の間 2.3.の自身の回答を踏まえ意見を述べなさい。

なお、サイゼリヤの第 1 四半期の情報については言及する必要はない。

【1,000 字以上】

以上

必要字数

計 3,200 字～4,000 字

※テーマ表記及び*1. 計算式、計算結果は必要字数に含まない。

2023 年度 第 4 回課題研究

テーマ

2023 年 7 月 27 日に、日糧製パン株式会社から、棚卸資産の過大計上に関する特別調査委員会の調査報告書が公表されています。

http://www.daisanshaiinkai.com/cms/wp-content/uploads/2023/05/230727_chousa2218.pdf

当該調査報告書を読み、以下の設問に答えなさい。

(1) 「調査報告書」に記載された不正について、当該不正を隠蔽するための具体的な手口を含め、概要を説明しなさい。 【800 字～1,200 字】

(2) (1)で述べた不正事例につき「監査における不正リスク対応基準」付録 1 不正リスク要因の例示を参考にし、どのような不正リスク要因があったと考えられるのか、考えを述べなさい。 【800 字～1,200 字】

(3) 会社は当該不正が生じないために本来どのような対応をすべきであったかを検討し、論述しなさい。 【800 字～1,200 字】

(4) 仮に以下のコミュニケーションがあった場合に以下の問いに答えなさい。

2023 年 3 月期の期末監査も佳境に入った GW 明け、往査初日（5 月 8 日）に会社訪問したところ、あなた（監査人）は経理責任者から別の部屋に呼び出され、「当社の社長あてに社内関係者とみられる匿名の人物から「製菓工場の棚卸金額が物凄い金額粉飾されている。」などと記載された電子メールによる通報があった。ついては今後どう対応すればよいか。」という相談を受けました。

あなた（監査人）が、行うべき監査上の対応を答えなさい。 【2,400 字～3,000 字】

以上

必要字数

計 4,800 字～5,600 字

※テーマ表記は必要字数に含まれない。

2023 年度 第 5 回課題研究

テーマ

あなたはある上場会社の担当会計士です。担当クライアントの経理部長から、グループ通算制度の適用を検討しているとの相談を受けました。

1. 我が国におけるグループ通算制度の概要について述べなさい。 **【400 字～600 字】**
2. 実務対応報告第 42 号で求められているグループ通算制度を適用する企業の個別財務諸表及び連結財務諸表における繰延税金資産の回収可能性について述べなさい。 **【800 字～1,200 字】**
3. グループ通算制度を適用している会社において、有価証券報告書を作成する際に、実務対応報告第 42 号で求められる表示方法及び注記について述べなさい。 **【400 字～600 字】**

以上

必要字数

計 1,600 字～2,400 字

※テーマ表記は必要字数に含まれない。

2023 年度 第 6 回課題研究

テーマ

現行の会計実務においては多くの会計上の見積りを含んでいます。そこで、「繰延税金資産の回収可能性」を題材に、監基報 540「会計上の見積りの監査」を踏まえ、以下について述べなさい。

1.

企業会計基準適用指針第 26 号「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（以下、適用指針という）を踏まえた繰延税金資産の回収可能性に関する検討プロセスの概要を述べなさい。 **【1,500～2,000 字】**

2.

①見積りの不確実性が高いと判断した会計上の見積りについて財務諸表上、注記が要求される目的、注記事項を簡潔に述べなさい。②その上で、「重要な会計上の見積り」の注記として「繰延税金資産の回収可能性」を適切に注記する場合の留意点を述べなさい。 **【1,000～1,500 字】**

3.

①監基報 540「会計上の見積りの監査」において求められているリスク評価手続及びリスク対応手続を述べなさい。②①の内容を踏まえて、「繰延税金資産の回収可能性」の監査を実施する場合のリスク評価手続及びリスク対応手続を具体的に述べなさい。なお、適用指針における（分類 3）の会社を前提とする。 **【3,900～4,400 字】**

以上

必要字数

計 6,400 字～7,200 字 ※テーマ表記は必要字数に含まれない。
（各問を全て文字数制限の上限まで記載すると全体の文字数制限を超過します。
超過した場合は減点対象となりますので、全体の文字数を超えないようご注意ください）